

生活科部門

総評

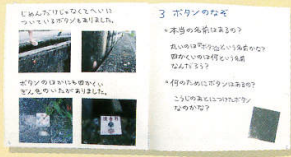
今年は震災の影響で「節電」を強く意識した夏でもあったため、家庭でできる節電や、植物を使ったグリーンカーテンに関する作品も目立ちました。
生活科ははてな疑問の起る教科です。日常のふとした疑問を探究して、最後に振り返る。入賞作品はその点が優れているものはかりでした。
また、生活科では失敗から学ぶということも多々あります。失敗したとき、次に失敗しないためにはどうすればよいかを考え、自分で試してみることが学びになります。近年はインターネットも普及し、情報自体は比較的に簡単に得られますが、その情報をまとめることができ、自分のものにはなりません。聞いたこと、知ったことを実際に自分でやってみることが大切なポイントです。



文部科学大臣奨励賞

じめんのボタンのナゾ いちばんえらいボタンをさがせ

富山県 富山市立鶴小小学 2年 本吉 凜菜



写真もうまく配置してわかりやすくまとめています。

通学路で地面にたくさんボタンがあるのを見つけた凜菜さんが、そのボタンの正体を探りまとめた作品です。ボタンの目的や誰がどうやってつけたかなどの疑問を解決すべく、ボタンに書いてある「土地家屋調査士会」に行くと、ボタンが土地の境界を示す「金さへび」などであることを知ります。さらに、もっと大事なボタンがあることを教えてもらった凜菜さんは、国土地理院まで出かけ、街区・三角点などの基準点があることも知り、その街区三角点と凜菜さんの小学校の屋上にあるという嬉しい発見に至ります。ボタンそのもの以上にそのちねんぶいみがあるんだなとわかりましたというしっかりした結論が見事です。
日常のふとした疑問を深く探究する姿勢、そして読み手を引き込む工夫のあるまとめ方が大変素晴らしい作品です。



子どもの文化・教育研究所 理事長賞

だいすき! かぶとむし

岐阜県 岐阜市立黒野小学校 1年 鷺見 智也



かぶとむしへの愛情が伝わってきます。

買ってもらったかぶとむしがすぐに死んでしまったことにショックを受け、同じことを繰り返さないようかぶとむしがよくるごぶたのしいえをつくりたいというしっかりした目的を持って取り組んだ作品です。毎日の観察でかぶとむしの力が強いことを知り、いろいろな実験を行います。跳ね上げる力の実験はなかなかうまくいきませんが、その都度原因を考え、結局4通りも方法で実験を行いました。失敗にくじけず、こうしたらうまくいけようと考え、実際に自分で試しているそのプロセスこそが智也さんの学びになっています。



全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会会長賞

夏休み新聞

東京都 白百合学園小学校 2年 木多 陽向子



絵や写真をうまく使って、毎日レイアウトを工夫しています。

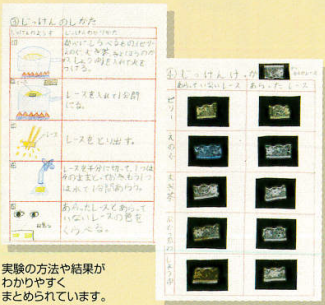
「夏休み新聞」そのタイトルとあり、ほぼ毎日とても素敵な新聞を作成してくれた陽向子さん。その継続力がまず賞賛に値します。内容も、世の中のニュース、自分の出来事、工場見学、レポート、クイズ、ことわざなど多岐にわたり、楽しく読める工夫満載です。「ニュース」は、どこかからそのままだ引用するのではなく、自分の言葉でちゃんとまとめています。また、例えば暑中見舞の返事のハガキについていたミツクワ紙というマークに気づいてそれについて調べるなど、日々の生活の中に学習できることがたくさんあるんだということを気づかせてくれる作品です。



中央出版株式会社 社長賞

色がつけられた食べものがあるという!!

愛知県 愛知教育大学附属岡崎小学校 2年 渡邊 敬子



実験の方法や結果がわかりやすくまとめられています。

毎年食へものに関する実験などは多くありますが、食へもの色に疑問を持って調べた敬子さんの着眼点が印象的です。黄色く光るゼリーを少し怖いと思ひ、しうゆ、麦茶、絵の具など色をつき方を比べる実験を行いました。実験結果から自分のりの考えをまとめ、さらにゼリーの色の正体が「合成着色料」であることをつきとめます。最後に私のいけんとして合成着色料を使った食へものに対する敬子さんの考えを述べており、生活科で大切な自分のかかわりをつきり見つけることができています。



優秀賞

わくわくニひるい

京都府 京都市立嵯原小学校 1年 大窪 優里

なすはかせ

岐阜県 関市立富岡小学校 2年 佐野 琴葉

わかしとま 卵なんきえにタイムスリッ

東京都 白百合学園小学校 1年 恩慈 美妃